

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 9 月 17 日 (2020.9.17)

【公表番号】特表 2020-523639 (P2020-523639A)

【公表日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)

【年通号数】公開・登録公報 2020-031

【出願番号】特願 2019-568405 (P2019-568405)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/302 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

G 0 9 F 9/35 (2006.01)

G 0 9 F 9/313 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/302 C

G 0 9 F 9/30 3 0 8 A

G 0 9 F 9/30 3 6 5

G 0 9 F 9/35

G 0 9 F 9/313

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 11 日 (2019.12.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有効表示領域の範囲を画定する輪郭線を有し、

繰り返して配列されている複数の第 1 の発光ユニットと、繰り返して配列されている複数の第 2 の発光ユニットとを含み、

前記複数の第 1 の発光ユニットはそれぞれ、一又は複数の副画素を有し、また、前記複数の第 2 の発光ユニットはそれぞれ、一又は複数の副画素を有し、

前記第 1 の発光ユニットに含まれる副画素の数は前記第 2 の発光ユニットに含まれる副画素の数以上であることを特徴とする、異形ディスプレイ。

【請求項 2】

前記第 1 の発光ユニットは連続的に配置され、前記有効表示領域においてメイン表示領域を形成し、

少なくとも一つの前記第 2 の発光ユニットは孤立状態で配置され前記有効表示領域においてエッジ表示領域を形成することを特徴とする、請求項 1 に記載の異形ディスプレイ。

【請求項 3】

前記第 1 の発光ユニットは、

二つの第 1 の副画素、二つの第 2 の副画素、及び二つの第 3 の副画素を含み、又は二つの第 1 の副画素、二つの第 2 の副画素、及び一つの第 3 の副画素を含み、又は二つの第 1 の副画素、一つの第 2 の副画素、及び一つの第 3 の副画素を含み、又は一つの第 1 の副画素、一つの第 2 の副画素、又は一つの第 3 の副画素、を含むことを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の異形ディスプレイ。

【請求項 4】

前記第 2 の発光ユニットは、一つの第 1 の副画素、一つの第 2 の副画素、及び一つの第

3の副画素を含み、前記第2の発光ユニットに属する一つの第1の副画素、一つの第2の副画素、及び一つの第3の副画素は、三角形を成すように配列され、又は直線に沿って配置されていることを特徴とする、請求項1～3のいずれか一項に記載の異形ディスプレイ。

【請求項5】

前記第1の発光ユニットが二つの第1の副画素、二つの第2の副画素、及び二つの第3の副画素を含む場合、

前記第2の発光ユニットは、

二つの第1の副画素、二つの第2の副画素、一つの第3の副画素を含み、又は

二つの第1の副画素、一つの第2の副画素、一つの第3の副画素を含み、又は

一つの第1の副画素、一つの第2の副画素、及び一つの第3の副画素のうちいずれか二つの副画素を含み、又は

一つの第1の副画素、一つの第2の副画素、及び一つの第3の副画素のうちいずれか一つの副画素を含むことを特徴とする、請求項3に記載の異形ディスプレイ。

【請求項6】

前記第1の発光ユニットに含まれる副画素の数と前記第2の発光ユニットに含まれる副画素の数とが等しい場合、第1の方向において、前記第1の発光ユニット及び前記第2の発光ユニットはそれぞれ連続的に配置されており、前記第1の方向と交差する第2の方向において、前記第1の発光ユニットと前記第2の発光ユニットとは交互に配置されていることを特徴とする、請求項1に記載の異形ディスプレイ。

【請求項7】

前記第2の発光ユニットにおける副画素の配置形態と前記第1の発光ユニットにおける副画素の配置形態とは、前記第1の方向において鏡像対称となっていることを特徴とする、請求項6に記載の異形ディスプレイ。

【請求項8】

有効表示領域の範囲を画定する輪郭線を有し、

繰り返して配列されている複数の第1の発光ユニットと繰り返して配列されている複数の第2の発光ユニットとを含み、

前記第1の発光ユニットが配置されている表面の曲率半径は前記第2の発光ユニットが配置されている表面の曲率半径よりも大きいことを特徴とする、異形ディスプレイ。

【請求項9】

前記第1の発光ユニットは連続的に配置され前記有効表示領域においてメイン表示領域を形成し、

少なくとも一つの前記第2の発光ユニットは孤立状態で配置され前記有効表示領域においてエッジ表示領域を形成することを特徴とする、請求項8に記載の異形ディスプレイ。

【請求項10】

有効表示領域の範囲を画定する輪郭線を有し、繰り返して配列されている複数の第1の発光ユニットと繰り返して配列されている複数の第2の発光ユニットとを含み、前記第1の発光ユニットに含まれる副画素の数が前記第2の発光ユニットに含まれる副画素の数以上であり、又は前記第1の発光ユニットが配置されている表面の曲率半径が前記第2の発光ユニットが配置されている表面の曲率半径よりも大きい、異形ディスプレイと、

前記ディスプレイに給電する電源モジュールと、

メディア情報を記憶する記憶モジュールと、

前記ディスプレイ、前記電源モジュール及び前記記憶モジュールと電氣的に接続されて、前記電源モジュールの給電を制御し、且つメディア情報を前記異形ディスプレイに表示させる処理モジュールと、ことを特徴とする、表示装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明で開示される各実施例により、異形ディスプレイが提供される。前記異形ディスプレイは、有効表示領域の範囲を画定する輪郭線を有し、繰り返して配列されている複数の第1の発光ユニットと、繰り返して配列されている複数の第2の発光ユニットとを含み、前記複数の第1の発光ユニットはそれぞれ、一又は複数の副画素を有し、また、前記複数の第2の発光ユニットはそれぞれ、一又は複数の副画素を有し、前記第1の発光ユニットに含まれる副画素の数が前記第2の発光ユニットに含まれる副画素の数以上である。